

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度第2回入間市上下水道審議会
開 催 日 時	令和6年3月18日(月) 午後3時00分開会・午後4時00分閉会
開 催 場 所	鍵山浄水場 2階ホール
議 長 氏 名	入間市上下水道審議会 会長 相葉 学
出席委員(者)氏名	福島 和弘、長嶺 俊広、永井 儀男、奥富 茂生、小川 晋、 村井 秀雄、佐々木 恵巳子、田中 啓子、宮寺 弘隆、 市原 義道、久保田 清美、池上 公子、青山 友子
欠席委員(者)氏名	小島 雅子
説明者の職氏名	報告事項(1)・(2) 上下水道部参事兼上下水道経営課長 藤田拓也 報告事項(3) 下水道施設課長 高野 進 報告事項(4) 上下水道経営課 豊泉 隆
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 会長挨拶 3 報告事項 (1) 令和6年度 水道事業会計予算概要 (2) 令和6年度 下水道事業会計予算概要 (3) 社会資本整備総合交付金事業の整備計画(下水道事業)の 経過報告について (4) 能登半島地震応急給水活動の報告について 4 その他 5 閉 会
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	令和6年度 水道事業会計予算概要(資料1-1、1-2) 令和6年度 下水道事業会計予算概要(資料2-1、2-2) 社会資本整備総合交付金事業の整備計画(下水道事業)の経過報告

	<p>について（資料3-1）</p> <p>社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）（資料3-2）</p> <p>入間市下水道総合地震対策計画（概要版）（資料3-3）</p> <p>入間市下水道ストックマネジメント計画（概要版）（資料3-4）</p> <p>令和5年度第2回入間市上下水道審議会会議次第</p>
事務局職員職氏名	<p>上下水道部 晝間上下水道部長、豊泉上下水道部次長</p> <p>上下水道経営課 藤田参事兼課長、山川主幹、長山副主幹、 豊泉副主幹、大石主任、木村主事、鈴木主事補</p> <p>水道施設課 内沼課長、野口主幹、工藤主幹、萩原主幹</p> <p>下水道施設課 高野課長、田中副主幹、高田副主幹、 坂口副主幹</p>
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○審議会の会議録に署名する委員については、永井 儀男委員が指名された。

○報告事項

- (1) 令和6年度 水道事業会計予算概要
- (2) 令和6年度 下水道事業会計予算概要
- (3) 社会資本整備総合交付金事業の整備計画（下水道事業）の経過報告について
- (4) 能登半島地震応急給水活動の報告について

4件の報告については、「異存なし」となった。

○その他

事務局より次の事項を説明

- ・令和6年度の審議会は、予算・決算の2回と新たな上下水道ビジョン作成にあたり、今後の経営戦略を含めた勉強会を検討している。
- ・令和6年度第1回の上下水道審議会の詳細については、詳細が決まり次第、通知する。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
相葉会長	(開会の挨拶、審議会開催にあたっての注意事項)
	3 報告事項
	(1) 令和6年度 水道事業会計予算概要(説明者:藤田参事兼課長)
宮寺委員	<p>能登半島地震で断水が起きているが、入間市でも約40%位しか水道の耐震化が行われていない。節水等で水道を使う量も減り、人口も増えていないということだが、このままではいつまでも水道の耐震化は出来ないと感じている。公営企業における独立採算制の原則という話は承知しているが、一般会計から補助金を要求し、水道管の耐震化率を上げていくという考えはないか。</p>
藤田参事兼課長	<p>一般会計からの補助金はありません。企業会計が保有している資金で耐震化を進めていくということになります。</p>
内沼課長	<p>令和8年度までに耐震化率40%ということを目指していて、現在は順調に進んでいます。令和9年度以降は、中期の耐震化計画を策定しているところですが、その計画の中で方針を決定していくこととなります。一般会計からの予算の繰入という形は今のところ考えておりません。</p>
宮寺委員	<p>一般会計の補助金で水道の耐震化を図るということについて異議を唱える人はいないのではないかと思います。市長や財政部門に独立採算に従って耐震化を進めていくように言われるかもしれないが、今が良い機会であり、審議会等を利用して良いのではないかと思います。一つの提案である。</p>

発 言 者	発 言 内 容
藤田参事兼課長	宮寺委員さんの意見として、私どもとしてはありがたい話です。来年度以降、財政部門にこのような意見があったということを伝えていきたいと思います。
宮寺委員	皆様の同意があれば、会長名で要望してもいいのではないかと思います。
藤田参事兼課長	一般会計の方も金銭的な部分で事情があるのではないかと思います。
宮寺委員	後になるとすぐに忘れてしまう。能登半島で大変な苦勞をしている。生活は水がなければどうにもならない。
藤田参事兼課長	宮寺委員さんの意見として、ご検討させていただきます。
宮寺委員	私の意見ということで聞いていただければと思う。
藤田参事兼課長	貴重なご意見ありがとうございます。
	(2) 令和6年度 下水道事業会計予算概要（説明者：藤田参事兼課長）
市原委員	資料1-1と2-1にある収益的支出の確認だが、下水道の方で水質検査の記述があるのに、水道は記述がないのは何故なのか。本日の話では水質検査をしているようだし、ホームページにも検査結果が掲載されている。
内沼課長	鍵山浄水場につきましては、市の方で県に委託して検査し、ホームペ

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ージに結果を掲載している。県水は県が検査を実施しておりますので、その結果を県から受けているという状況です。</p>
市原委員	<p>蛇口検査も行っているとホームページに記述があったので結構労力がかかっていると思う。</p>
内沼課長	<p>浄水場とか大きな費用と比べると検査の費用はそこまでではないので、特記していないという形になります。</p>
	<p>(3) 社会資本整備総合交付金事業の整備計画（下水道事業）の経過報告について（高野下水道施設課長）</p> <p>・意見なし</p>
市原委員	<p>(1)～(3)を通じての意見</p> <p>本日の説明の中でも話に出てきたが、水は命綱である。蛇口をひねれば水は出るし、知らない間に下水として勝手に流れていく。感謝する気持ちが難しいなと思うが、今回この施設見学を通じて審議委員として色々勉強して気持ちが少し切り替わってきている。今年の1月の上下水道トピックスの中でダム見学の記事があったが、10組20名というのは少ないと思う。より多くの市民に水が作られる仕組みを見てもらい、考える機会を与えていただきたいと思う。例えば社会科見学とか行えば、子どもたちも色々考えて、大人になった時により良い考え方を持って動いてくれるのではないかと感じる。受ける側も色々費用はかかると思うが、このような計画は今後ありえるのか。</p>
藤田参事兼課長	<p>ダム見学会を夏に開催させていただきました。もう少し人数を増やし</p>

発 言 者	発 言 内 容
山川主幹	<p>た方が良いのではないかとというのも貴重なご意見でございます。</p> <p>私の方で親子ダム見学会のご案内をさせていただいたところであります。先程、市原委員さんの方で10組20名は少ないのではないかとというご意見がございました。以前は20組40名で大型バスを使用し、鍵山浄水場と秩父のダムの見学を行っていましたが、コロナ禍ということで一旦立ち消えました。令和4年度からダム見学を再開するにあたり、ソーシャルディスタンスの兼ね合いもありますので、10組20名とさせていただきます。見学をする上で、炎天下の中ということもあり、健康管理の部分も考慮すると従来の20組40名は受け入れ側に限界があります。そのため、10組20名ということで制限をかけさせていただきました。今後においても10組20名ということで様子を見させていただきます。ご要望もいくつかいただいておりますので、場合によっては20組40名に変更させていただきたいと思っております。</p>
市原委員	<p>施設を映像で各学校の生徒に見てもらうのも良いのではないかと思います。本当により多くの人に見てもらわないと水に対する感謝が生まれてこないのではないかと思います。ぜひとも良い方向に持って行っていただきたい。</p>
藤田参事兼課長	<p>ご意見ありがとうございました。話は変わりましたがマンホールカードのことですが、埼玉県キャラクター部門の人気投票でいるティーのマンホールが1位になりました。マンホールの下には何があるのか考えてもらう良い機会だと思います。また、先程の話ですが、学校見学の方は既に実施をしており、小学校4年生の子が見学しに来ています。あと副教材の方にて「水の作り方」の発行をしているのが現状です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
相葉会長	<p>見学は予算がそんなに必要ないと思います。人手や手間だけだと思います。市原委員が言われた市民への啓発というのは、非常に重要な部分だと思いますので、ぜひご検討いただければと思います。</p>
	<p>(4) 能登半島地震応急給水活動の報告について (豊泉副主幹)</p>
市原委員	<p>テレビでしか情報がないが、設備の復旧に非常に時間を要している。技術者が重機を持ち込んで支援していたようだが、応援についての依頼はなかったのか。</p>
藤田参事兼課長	<p>最初は関西・中部地方が応援に入っていました。その後、横浜市と東京都が中心となって関東の各市の部隊に応援を振り分けていました。今回どうして行けなかったのという、被災地が半島となると被災地に到着するまでの道路が寸断されていることで復旧が遅れているという印象がありました。現地ではかなり寝ずに復旧させて何とか志賀町でも9割くらいが復活したようです。今度は輪島がまだ残ってるので輪島の方を支援していくというのが課題です。</p>
市原委員	<p>ホームページに防災計画があるが、県を越えた防災計画があってもよいと思う。</p>
藤田参事兼課長	<p>受援が大切ということもわかったので、今回の件で仕組みを検証していきます。仮に、被災した場合は、おそらく所沢市か川越市に拠点ができて、応援部隊が全国から集結し、入間市の各地区センターや公共施設等に給水車を派遣する形になると思います。そのあたりは、今回の応援給水を通じてしっかりとした受援計画があるのだと実感できました</p>

発 言 者	発 言 内 容
市原委員	<p>検証結果を自治会と共有し、一緒に連動して防災に取り組んでいきたい。</p>
藤田参事兼課長	<p>技術支援の要請については、今所沢と狭山市が技術者を派遣していて復旧活動にあたっている状況です。入間市も要請はありましたが、一旦は様子を見ているという状況です。</p>
小川委員	<p>入間市の水道の組合の代表で審議会の委員をしている。入間市と狭山市、所沢市及び川越市の四市でつながっている。その上に埼玉県とつながっている。全国で水道業者がつながっていて、全管連、埼玉管連で連絡網があり、全管連を中心として、どこが支援行くとかそういう連絡を取りあっている。入間市で何か災害があった場合は飯能と水道管がつながっていて、水を補給するというシステムがある。</p>
市原委員	<p>ホームページに情報を掲載しておけば市民に情報が入ってきて安心する。今の状況だと入間市は何もしていないように感じる。今日の応急活動の写真とか市民に教えてあげたら少しは安心するかなと思います。</p>
相葉会長	<p>慣れない土地で時間外、休日の勤務をしていただき本当にご苦労様でした。入間市民として、入間市役所の職員が被災地に行って活躍されていたというのを聞いて心強く思う。</p>
相葉会長	<p>他に意見がなければ事務局より報告をお願いします。</p>
豊泉副主幹	<p>事務局より報告（会議録（2）の「その他」参照）</p>
福島副会長	<p>（閉会の挨拶）</p>

発 言 者	発 言 内 容
相葉会長	以上で令和5年度第2回上下水道審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和6年5月9日</p> <p>議 長 の 署 名 相 葉 亨</p> <p>議長が指名した者の署名 永 井 儀 男</p>	